

【第1号議案】

令和5年度 事業報告

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

I. 総括

〈はじめに〉

私たち「八王子市町会自治会連合会」（以下「町自連」という。）は、「向こう三軒両隣」「互近助（ごきんじょ）づきあい」を基本とした「助け合い（共助）」の組織として、八王子市全域の町会・自治会・管理組合（以下「町会自治会等」という。）で構成する団体である。

八王子市内の町会・自治会・管理組合は、576団体144,317世帯（令和5年6月現在）が登録されているが、このうち「町自連」は、346団体108,969世帯（令和6年3月現在）を擁し、市内を代表する町会自治会等の連合組織となっている。

「町自連」の活動の基本は、各単位町会・自治会・管理組合の自主性を尊重し、当該組織の活性化を促すこと。地区連合会の会合を定例的に開催することで地域課題への対応や情報交換を行うとともに、更に「町自連」役員会の報告を町会自治会等に徹底周知すること。地区連合会相互の情報交換を進め、広域にわたる課題の解決に取り組んでいくことにある。

「町自連」は、平成31年4月に施行された「八王子市町会・自治会の活動活性化の推進に関する条例」に基づき、市が推進する「協働のまちづくり」に対する一定の役割を果たすため、行政等の機関が所管する各種審議会、委員会等へ積極的に「町自連」の代表を派遣するなど、多岐にわたる活動に取り組んできた。

あわせて、「町自連」や地区連合会で提起された行政課題又は問題点並びに協力要請等については、平成25年以降毎年開催している市長と町自連三役との定例懇談会を通じ、率直に意見交換を行い、課題解決に努めてきた。

1. 三役会及び常任理事会の開催

「町自連」の運営は、毎月第2火曜日に定例役員会を開催し、午前の三役会で議題等の案件の調整を行い、午後からの常任理事会では、議題等の案件の審議等を行い、また、行政等関係機関からの情報提供と周知、発言の場として活用した。

この常任理事会での主な会議内容は、町自連ホームページに掲載している。

2. 行政主導の各種審議会・委員会等への出向

市内を代表する町会自治会等の連合組織として、「町自連」の常任理事等が委員として各種審議会等へ出向し、「町自連」として早期に行政課題の的確な把握に努め、かつ、「町会自治会等」の立場からの意見や主張を反映する機会を得てきた。

各種審議会などへの派遣の詳細は、総会資料 P40, 41 に掲載している。

3. 運営組織の充実

- (1) 組織の運営を効率よく機能させるため事業部の業務を見直し、総務部、広報部、組織部、生活安全部の各専門部へ事業を分散させるとともに、事務局との運営面での連携強化を図り、スムーズな事業の推進に努めた。
- (2) 組織規模の適正化と拡大は「町自連」発足以来の課題である。地区連合会規程第1条に地区連合会の基準を「5町会以上で1,500世帯以上」と定めており、5町会未滿の本町地区に対し、統合または隣接する地区等への編入を含めた働きかけを行うなど、地区連合会の規模の適正化に努めた。

4. 東京都町会連合会及び全国自治会連合会との連携

東京都町会連合会（事務局：中野区）は、東京都内23区及び多摩地域8市で構成する連合組織として、また、全国自治会連合会に加盟する団体として、他の団体との連携及び情報の共有と発信に努めており、町自連は平成22年9月に加入をした。

現在、町自連会長はこの連合組織の副会長に就任しており、本市の「町会自治会等」で抱える問題を提起するとともに、東京都に対しては、施策及び予算要望等を行うなど、地域住民の安心した生活基盤の構築に向けた活動に取り組んできた。

(1) 東京都町会連合会

① 常任理事会 毎月第1水曜日（もしくは第2水曜日）開催 東京都庁会議室

② 定期総会

開催日・会場 6月18日（木）京王プラザホテル新宿

定期総会に都知事などを招いたほか、町自連から推薦した4名が都町連会長表彰を受けた。

③ 東京都町会連合会創立40周年記念事業

開催日・会場 令和6年1月18日（木）京王プラザホテル新宿

町自連会長が創立40周年記念事業の実行委員長となり、記念誌の発行をはじめ、記念式典及び基調講演、懇親会を企画し実施した。式典に続く基調講演では、小池都知事から、東京都が進める住民の安全な暮らしにかかわる「都

の施策」を中心とした講話をいただいた。

(2) 全国自治会連合会全国大会

開催日・会場 10月18日(木)～19日(金) 北海道・札幌市

全国から500名を超える会員が出席。「町自連」からは秋間会長が参加をした。大会では、「すべての地縁団体の代表者とともに住民自治の更なる発展と未来に誇れる地域社会の創造」を目指した大会宣言が採択され、また、デジタルとアナログを合わせた町内会活動の取り組みやコロナ禍における町内会の防災活動として、「防災風呂敷」の製作などの事例報告があった。

5. 市への要望

常任理事会において、「公衆街路灯」の不具合箇所への早期改修を求める意見があり、「町自連」としても、「公衆街路灯」の正常な稼働は、地域住民の安全、安心に不可欠であると考え、6月19日付で市に対し不具合への早期対処にむけた、改善処置を求める要望書を提出した。この要望を受け、市担当所管は改善処置を講じている。

6. 健全財政の確立

「町自連」に加入する世帯からお預かりをする分担金の効果的な活用や、八王子市等のからの補助金を確保するため、「町自連」の事業を担当する専門部と連携し、健全財政の運用に努めた。

【健全財政の柱】

(1) 東京都地域の底力発展事業助成制度を活用した事業

(所管専門部 生活安全部、組織部)

(2) 八王子市の町会等地区連合会交流事業助成制度の活用

地区連合会の交流事業を推進し地域活動を活性化するため、「町自連」の16地区連合会と2地区の協議会、合計18地区分の予算を確保した。予算の執行にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3地区の連合会と1地区の協議会が事業を見送った。

(3) 経費の削減について

令和4年度に印刷コストなど経済面で優位性の高い複写機を導入したことで「町自連」加入団体の利用頻度が増加したこと、宅配事業者を活用することで資料の配送コストの削減を図るなど、事務経費の縮減に努めた。

(4) 自主財源の確保

① 町自連分担金収入の増減

「町自連」未加入団体へ「町自連だより」や町会自治会等に必要な行政からの通知などを送付したほか、町会加入促進活動などの機会をとらえて、専門部と連携して、「町自連」未加入団体や町会未加入者への「町会自治会加入促進活動」の支援を行った。

令和5年度は2団体が町自連に加入したものの、5団体が退会したため、分担金は減収となった。(加入 623 世帯 退会 1,085 世帯)

【新規加入】 城山手自治会 (565 世帯) 五月自治会 (58 世帯)

【退会】 中央部地区連合会 (上八日町、八日町一、二丁目 800 世帯)

小比企園自治会 (35 世帯) 南大沢 3-15 自治会 (77 世帯)

ローズハイツ管理組合 (160 世帯 6 月末退会)

② 自治会活動賠償責任保険協賛金収入の増減

【令和5年度加入状況】 新規加入 8 団体、更新見送 9 団体

(見送の理由) 新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛

(ア) 令和5年度 489,314 円 (対前年 63,404 円増)

(イ) 令和4年度 425,910 円

③ 町自連だより 広告収入の増減 (所管専門部 広報部)

(ア) 令和5年度 4,910,000 円 (対前年 540,000 円減)

(イ) 令和4年度 5,450,000 円

※ 令和4年度の決算額のうち 120,000 円は、令和5年度広告協賛金であるが、令和5年3月末日入金のため、令和4年度決算額へ計上している。

II. 総務部

1. 定期総会

令和5年度の定期総会は、開始時間を早め参加しやすい時間帯とした。総会では、令和4年度の事業報告、決算報告及び監査報告並びに役員選出、令和5年度事業計画(案)及び予算(案)などを審議し、提出した議案はいずれも原案のとおり可決され、総会終了後には、退任町会・自治会長と事務局長へ感謝状の贈呈を行った。

(1) 定期総会

① 開催日・会場 5月28日(日) 13時30分 八王子エルシィ3階

② 参加者 111名 【感謝状贈呈 40名】

(2) 定期総会后懇親会

① 開催日・会場 5月28日(日) 16時 八王子エルシィ4階

- ② 参加者 106名 (うち来賓24名)



2. 新年懇親会

- (1) 開催日・会場 令和6年1月13日(土) 16時 八王子エルシィ4階
 (2) 参加者 120名 (うち来賓32名)

3. 市長と町自連三役との定例懇談会の実施

「町会自治会等」及び地区連合会と「町自連」が抱える広域にわたる課題や問題解決に向け市長との懇談会を開催した。懇談会では、市民の声を直接行政に届けたことで、行政の所管部署との連携強化が図れた。

【令和5年度のテーマ】

- ① 地域交通事業のサポートについて
- ② 管理不全空き家への取り組み
- ③ 地域づくりの今後の進め方



- (1) 開催日・会場 7月14日(金) 13時30分から14時30分 市役所特別会議室
 (2) 参加者 町自連・・・会長、副会長、会計、監事ほか 11名
 行政・・・市長、担当部課長ほか 13名

4. 役員研修会

市長と町自連三役との定例懇談会で取り上げた「地域交通」をテーマに、現在「デマンドバス」の実証運行を行っている埼玉県狭山市を視察した。視察後、現場の現状を踏まえ、様々な状況の分析を行い、本市の地域交通事業が抱える課題解決策の参考とするべきであるとの意見があった。

《デマンド交通》

予約する利用者に応じて運行する時刻や経路が変わる交通方式で、予約がある場合のみ運行する交通体系。

- (1) 開催日 令和5年11月8日(水)
- (2) 視察先 埼玉県狭山市 「ほりかねデマンド・ラボ・オペレーションセンター」
- (3) 参加者 町自連 19名 八王子市 5名



Ⅲ. 広報部

1. 広報紙「町自連だより」

(1) 発行状況

「町自連」活動や地域がもつ魅力、特色等の周知を図るため、地区連合会の単位で特集し、年4回広報紙「町自連だより」を発行し、市内町会・自治会、行政機関及び商業施設などへ配布した。

- ① 第58号(4.15発行) 中部地区特集
- ② 第59号(7.15発行) 東南部地区特集
- ③ 第60号(10.15発行) 南部地区特集
- ④ 第61号(2024.1.15発行) 西部第一地区特集

(2) 掲載内容

発行月の3か月前より月1回、地区特集先の地区連合会長と編集者を交えた



「編集会議」を開催。読者視点による充実した紙面づくりを目指し、記事内容を含め、様々な意見を出し合い編集した。特に、地域情報の発信及び地域との連携をより強固なものとするため、地区の歴史(今、昔を知る)や伝統技能、文化などの情報提供に力を注いだ。

(3) 広告協賛及び「町自連だより」の主な配布先(部数)

特集地区の連合会の協力を得て広告協賛者の拡充を図るとともに、特集地区以外の広告協賛者への呼びかけを行った。

【広告協賛金の状況】

- ① 第 58 号 1,410,000 円 32 社
- ② 第 59 号 1,120,000 円 25 社
- ③ 第 60 号 1,250,000 円 27 社
- ④ 第 61 号 1,130,000 円 23 社

【町自連だより・主な配布先】

- ① 市内の全町会・自治会・管理組合 115,000 部
- ② 市役所(事務所、図書館、体育館)、市民センター、関係団体 3,300 部
- ③ 学園都市文化ふれあい財団、観光コンベンション協会、八王子国際協会 600 部
- ④ 永生会、スーパーアルプスほか広告協賛者 3,300 部
- ⑤ 東京都町会連合会(都内 23 区及び多摩 7 市の団体) 100 部
- ⑥ 町自連事務局 2,700 部

2. ホームページ「町自連」の運用

(1) 情報発信(ホームページのシステム更新)

「町自連」のホームページは、市民へ情報を発信する必要な手段であり、「町自連」の事業の周知や加入促進につなげる重要な情報伝達ツールの一つである。

令和 3 年 3 月 新たな基本オペレーションシステム「おりこうブログ AI 版」にシステムを変更以降、アクセス件数は年々増加をしており、令和 5 年度は、前年

度に比して約 7,300 件増加し、特に元八王子地区が主催した「北条氏照まつり」などのイベント情報や、ごみの収集など、住民の身近な情報に関する検索にアクセスが集中している傾向にある。

(年度別ホームページへのアクセス件数) (単位 件)

	アクセス数	対前年比
令和 5 年度	42,044	7,333
令和 4 年度	34,711	18,523
令和 3 年度	16,188	624
令和 2 年度	15,564	△5,586
令和元年度	21,150	△7,107



(各年度 3 月 31 日現在)

～HP画面より～

3. 広報部会・編集会議の開催

広報部会とともに、「町自連だより」の編集会議を定期的で開催し、読みやすい紙面づくりに努めたところ、令和 5 年度でも、読者から内容に関するご意見や感想が寄せられ、発行した広報紙を求める方も増えた。

紙面づくりでは、編集会議を通じ、地区連合会の思いを反映させるとともに、「町自連」の役割でもある地域の必要な情報提供を果たすことに心がけた。

IV. 組織部

1. 町会自治会等新任会長及び役員研修会の開催と「町会・自治会運営ハンドブック 2023」の作成

行政機関と連携し、平成 23 年度から新任の町会長や自治会長とその役員を対象に、町会自治会等の運営に関する情報提供等を目的に研修会を開催してきた。

令和 5 年度は、町会自治会等の円滑な運営を促進し、組織の活性化及び役員の負担軽減に寄与することを目的に研修会を行った。あわせて、加入促進活動の一環として、東京都及び(公財)東京都つながり創生財団と連携した個別相談会も行った。

また、説明会で使用する「町会・自治会運営ハンドブック 2023」については、一部改正された「個人情報保護法」を中心に、項目ごとに分かりやすい表現に改め、内容の改訂を行った。

- (1) 開催日 7月8日(土) 13時から16時
- (2) 会場 八王子ホテルニューグランド1階
- (3) 参加者 90名



2. 町会自治会等への加入促進への支援

- (1) 東京都地域の底力発展事業を活用した取り組み



市民が必要とする情報等の提供を目的に、「東京都地域の底力発展事業助成」の一つである「講師おまかせスマートフォン教室」を活用し、スマートフォン操作技術の習得と利用上の注意喚起を中心とした講習会を開催した。

- ① 開催日 11月28日(火) 13時から16時
- ② 会場 八王子ホテルニューグランド5階
- ③ 参加者 22名

- (2) 未加入町会への「町自連」加入促進の取り組み

地区連合会に未加入の町会自治会等には、「町自連だより」や「八王子市町会・自治会運営ハンドブック 2023」、東京都からの通知及びリーフレットを配布するなど、「町自連」への加入を呼びかけたところ、2町会が地区連合会及び「町自連」に加入した。



3. 不動産関連団体支部との相互協力

「町自連」では、町会自治会等への加入促進のため、平成28年3月に不動産関連団体支部と相互協力の協定を締結しており、不動産関係団体のイベント再開に向けた

協力をしたほか、市民や不動産事業者からは電話等による問い合わせも多くあり、加入促進に向けた相互連携の効果が認められた。

4. まちの腕きき掲示板事業への参加

この事業は、(公財)東京都つながり創生財団が運営するシステムで、「町会自治会等」の困りごと等へお手伝いしたいボランティアと依頼主となる「町会自治会等」を繋ぐ取り組みである。「町自連」は、令和4年4月、八王子市と連携してこの取り組みに参加をしており、令和5年度は、「町会自治会等」からの個別相談を受け、悩み事などへのアドバイスなどを行った。

V. 生活安全部

1. 町自連研修会

これまで継続して「防災」をテーマにした「講習会」を開催してきた。2020年以降、新型コロナウイルス感染症防止による自粛生活などを経験し、改めて「健康」に対する市民の意識が高揚したことから、安心して暮らせる健康な生活を注視した「健康づくり」をテーマに研修会を実施した。

- (1) 開催日 10月11日(水) 14時から16時
- (2) 会場 八王子市芸術文化会館「いちょうホール」
- (3) テーマ 安心して快適な生活、暮らしに向けた健康づくり
- (4) 講師 基調講演 落語家 桂 文ぶん氏 二胡奏者 李 英姿氏
健康体操 介護予防運動指導員 立道 聡子氏 片山 美奈子氏
- (5) 参加者 370名



2. 関係機関、組織との連携

(1) 防災関係組織との連携

行政と行っている防災関係事項の協議について、各種団体との連携により進め、住民の安全・安心に関する事項の検討を行った。

(2) 防火防災協会との連携

防火防災協会の副会長などの役員として運営に参画し、「町自連」と当該協会との連携を図った。

(3) 自主防災団体連絡協議会との連携

自主防災団体連絡協議会の役員として運営に参画し、「町自連」と当該協議会との連携を図った。

(4) 防犯関連組織との連携

八王子市内の3防犯協会（八王子・高尾・南大沢各防犯協会）と連携し、地域での防犯活動に参加した。

(5) 交通安全関連組織との連携

八王子市内の3交通安全協会（八王子・高尾・南大沢各交通安全協会）と連携し、地域での交通安全活動に参加した。

VI. その他（事務局対応）

1. 自治会活動賠償責任保険の加入促進

「町自連」が団体加入する自治会活動賠償責任保険は、取り扱いを開始してから15年が経過した。

当該保険は、町会自治会等が負担する保険料が20%程度減額となること。運用面では、町会・自治会行事として、自宅から会場までの往復時の怪我なども保険対象となること。これまで当該保険により補てんを受けた団体があったこと等、当該保険の有用性を勘案し、令和5年5月に新規加入募集活動を行い、町会自治会等が安心して活動できる環境づくりに寄与した。

※ 実績などの詳細は、6. 健全財政の確立 (4) 自主財源の確保 に記載

2. 町会・自治会設備整備支援補助金事業

(一財) 自治総合センターのコミュニティ助成事業及び八王子市の補助・支援制度を活用し、町会自治会等に対して備品の提供事業(無償貸与)を実施し、町会・自治会活動の活性化を支援した。

平成30年度に(一財)自治総合センターの指導を受け、当該事業の業務を八王子市へ移管したが、移管後も市に協力し引き続き業務の一部を受け持ち、支援の充実を図っている。

(1) 令和6年度選考結果

- ① 応募 47団体、品目 5種 (1,309点) 総額 14,086千円
- ② 提供予定 18団体 品目 5種 (249点) 総額 2,928千円
- ③ 市補助予算額 3,000千円 (対前年比 増減なし)

(2) 令和5年度実績

- ① 応募 57団体、品目 5種 (1,221点) 総額 11,768千円
- ② 提供 19団体 品目 5種 (288点) 総額 2,988千円
- ③ 市補助予算額 3,000千円 (対前年比 2千円増)